

《第70回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書》

	書名／作者名	あらすじ
小学校低学年	『アザラシのアニュー』 あずみ虫 // 作	アニューは、産まれたばかりのタテゴトアザラシの赤ちゃん。ある日、お母さんが北極の海へ行ってしまい、ひとりぼっちになって…。アラスカで暮らす著者が描く野生動物のおはなし。タテゴトアザラシについての説明も掲載。
	『ごめんねでてこい』 ささき みお // 作	大好きなおばあちゃんに「きらい」と言ってしまった、はなちゃん。謝りたいのに、「ごめんね」という言葉が出てきません。しばらくしたある日、おばあちゃんが救急車で病院に運ばれ、入院することに…。
	『おちびさんじゃないよ』 マヤ・マイヤーズ // ぶん ヘウオン・ユン // え まえざわ あきえ // やく	テンちゃんは身体の小さな女の子。いつも「おちびさん」と言われてしまいます。そんなある日、テンちゃんよりも小さい(かもしれない)マルくんという転校生がいじめっこにからかわれているのを見て…。
	『どうやってできるの？ チョコレート』	身近なお菓子、チョコレート。原料のカカオから板チョコレートができるまでを写真で紹介する。クッキングコーナーも収録。変形ページあり。
小学校中学年	『いつかの約束1945』 山本 悦子 // 作 平澤 朋子 // 絵	ゆきなとみくは、自分は9歳だと言うおばあさんに出会い、共に一日町を歩き回ることに。後日、ふたりは意外な場所で彼女と再会し…。いっしょに町を歩き、語り合った、忘れられない夏の日を描く。
	『じゅげむの夏』 最上 一平 // 作 マメイケダ // 絵	4年生の夏休みにやりたいことを宣言した、筋ジストロフィーの親友、かつちゃん。その願いを叶えてあげたくて、ぼくらは綿密に計画を練ったのだけれど…。いのちを謳歌する少年たちの姿をみずみずしく描く。
	『さようならプラスチック・ストロー』 ディー ロミート // 文 ズユエ チェン // 絵 千葉 茂樹 // 訳	海をよごし、海で暮らす生きものたちをおびやかすプラスチック・ストロー。ストローの発明と改良の歴史、プラスチックごみの影響や環境問題の解決策などを描く。SDGsを考え行動するための絵本。
	『聞いて聞いて！音と耳のはなし』 高津 修 // 文 遠藤 義人 // 文 長崎 訓子 // 絵	音は震える空気の波。大きな音は大きいうねり、高い音は細かく震える。2つの耳で聞くと、いきいきと立体的に聞こえるんだよ。音のプロが、音のひみつと耳のはたらきを語る絵本。

小学校 高学年	『ぼくはうそをついた』 西村 すぐり // 作 中島 花野 // 絵	祖父から原爆で亡くなった大おじの話を聞いたリョウタは、自分の住む広島 ^の 街を歩き、原爆の傷について考え始める。一方レイは、原爆で息子を亡くしている曾祖母を救いたいと思 ^い …。平和への祈りと希望を描いた物語。
	『ドアのむこうの国へのパスポート』 トンケ・ドラフト // 作 リンデルト・クロムハウト // 作 リンデ・ファース // 絵 西村 由美 // 訳	作家の家には、特別なパスポートを持った人しか入れないドアがある。子どもたちは、パスポートやビザの申請といった課題にむきあううちに、仲間や自分をより深く知っていき…。子どもたちへのエールに満ちた物語。
	『図書館がくれた宝物』 ケイト・アルバス // 作 櫛田 理絵 // 訳	親代わりになってくれる人を探すために疎開した両親のいないきょうだい。疎開先の厳しい日々、3人にとって、村の図書館だけが救いだった。第二次大戦下、ロンドンから疎開したきょうだいの心あたたまる物語。
	『海よ光れ！ 3・11被災者を励ました学校新聞』 田沢 五月 // 文	東日本大震災の直後から避難所となった大沢小学校。地域の被災者といっしょに学校で寝泊まりをしていた子どもたちの思いと、子どもたちが今の自分たちに何ができるのかを考え、取り組んだことを伝える。
中学校	『ノクツドウライオウ 靴ノ往来堂』 佐藤 まどか // 著	突然、家業の5代目候補だった兄が消えた。シューズデザイナーを夢みていた夏希は、靴職人として100年続く老舗靴店を継ぐべきか悩む。そんな中、祖父が作る靴を履いた人たちにおきた魔法のような変化を目の当たりにして…。
	『希望のひとしづく』 キース・カラブレーゼ // 著 代田 亜香子 // 訳	この町で、ふしぎなことが起きている。古い井戸がいきなり、願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのは、3人の中学生だけで…。世界のかたすみからおくる愛と希望の物語。
	『アフリカで、バッグの会社ははじめました 寄り道多め仲本千津の進んできた道』 江口 絵理 // 著	アフリカのシングルマザーの力になりたい。アフリカの貧困問題を解決するため、女性を勇気づけ、輝かせるために、迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた社会起業家・仲本千津の“進路決定”ドキュメンタリー。
高等学校	『 ^{そら} 宙そらわたる教室』 伊与原 新 // 著	東京・新宿にある都立高校の定時制に集った、さまざまな事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験を始め…。
	『優等生サバイバル 青春を生き抜く13の法則』 ファン ヨンミ // 作 キム イネ // 訳	大学進学実績で有名な進学校に入学したジュノ。テスト、課題、進路、SNS、恋…。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！ハードな高校生活を生き抜くために、“優等生”のジュノが見つけた法則とは？
	『私の職場はサバンナです！』 太田 ゆか // 著	肉食動物の想像を超えたサバイバル、サバンナを支える縁の下の力持ち…。南アフリカ政府公認の日本人女性サファリガイドが、サバンナの動物たちの生態や、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なことを伝える。